

5 救急業務のフォローアップ

5 救急業務のフォローアップ

(1) 背景・目的

救急業務に関する取組状況については、地域によって差が生じている。このため、アンケート調査により実態を把握していくとともに、毎年度の重点課題を設定した上で、消防庁が都道府県の担当部局とともに全国の消防本部を個別訪問し、必要な助言を行うことにより、救急業務の全国的なレベルアップを図っていくことが必要である。

(「平成28年度救急業務のあり方に関する検討会報告書」における提言)

(2) フォローアップの方針

- 都道府県の消防担当部局を訪問し、重点課題等に関する取組状況を聴取するとともに、各消防本部に対するフォローアップ方針を確認
- 都道府県の消防担当部局とともに消防本部を訪問し、現状と課題の認識を共有
(先進的な取組については他の消防本部への展開を促進
また、課題については必要に応じて助言)
- 各都道府県を3年に1回程度訪問

5 救急業務のフォローアップ

(3) アンケート調査

① アンケートの概要

〈 調査概要 〉

| | |
|---------|--|
| アンケート名称 | 救急救命体制の整備・充実に関する調査」及び「メディカルコントロール体制等の実態に関する調査」 |
| 調査対象 | 47都道府県(消防防災、衛生主管部局)、726消防本部 |
| 調査方法 | 電子ファイル送付によるアンケート調査 |
| 調査期間 | 令和元年9月20日～10月17日(基準日:令和元年8月1日) |
| 回答率 | 100%(現在、集計中) |

② 調査項目

フォローアップの重点課題とした以下の項目について、アンケートの中で調査。
アンケート結果を第3回検討会で報告。

- 1 #7119の実施状況と必要性
- 2 転院搬送ガイドラインの策定状況
- 3 傷病者の搬送及び受入れ実施基準に関する状況
- 4 救急救命士の資格を有する救急隊員数等の推移
- 5 指導救命士の認定状況
- 6 保健所等と消防本部の協定締結状況
- 7 ICT(スマートフォン・タブレット端末等)の導入状況
- 8 救急ボイストラの導入状況
- 9 搬送困難事例への対応 等

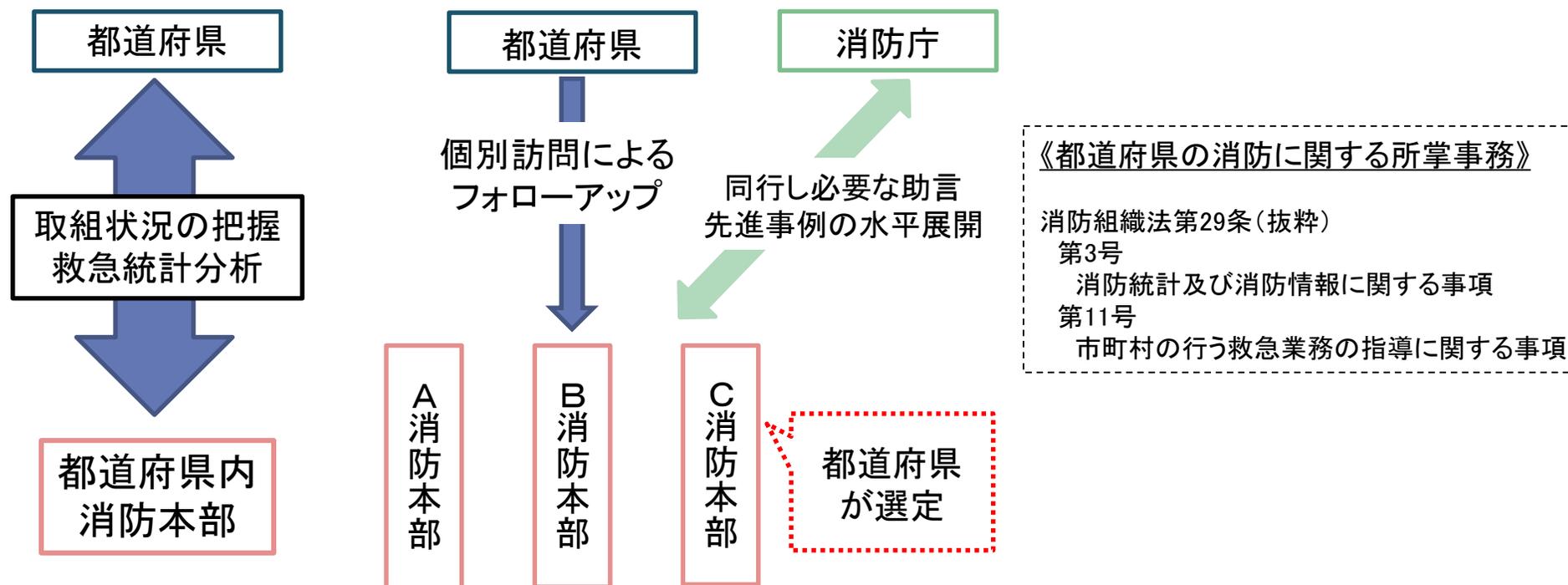
5 救急業務のフォローアップ

(4) 個別訪問

① 進め方

- 都道府県が主体となり、各消防本部における救急業務への取組状況を把握
- 救急統計を基に、都道府県消防担当部局が、都道府県内の各地域における救急需要や救急活動時間の変化等について分析
- 把握した取組状況や分析結果を基に、都道府県と消防庁が共同で消防本部を訪問（都道府県によるフォローアップ、消防庁による助言）

<フォローアップのイメージ>



5 救急業務に関するフォローアップ

③ 実施状況 ～令和元年11月15日時点～

| No. | 日程 | 都道府県 | 消防本部 | フォローアップ調査主な取組事例 |
|-----|----------------------------------|------|--------------------------------------|---|
| 1 | 5月15日(水) 5月16日(木) 5月17日(金) | 宮城県 | ①仙台市消防局 ②栗原市消防本部 ③あぶくま消防本部 | 5年前より、MCの基幹病院からタブレットを借用し、通信システムの活用により医療機関へ画像転送を行い有効な指示・助言を受けている。病院選定の指示助言ともなり、救急現場の滞在時間短縮となっていると感じる。(あぶくま消防本部) |
| 2 | 6月5日(水) 6月6日(木) 6月7日(金) | 北海道 | ①札幌市消防局 ②旭川市消防本部 ③岩見沢地区消防事務組合消防本部 | 外国人への対応として、救急ボイストラの導入以外だけでなく、救急安心センターでの電話相談に通訳を交えた3者間通話で対応することにより、日本語のほか6言語での相談を受け付けている。(札幌市消防局) |
| 3 | 6月14日(金) | 群馬県 | ①前橋市消防局 ②多野藤岡消防本部 | 指導救命士が全署の検証対象事案について二次検証を行っている。また、MC協議会事後検証会の発表症例を選定している。(前橋市消防局) |
| 4 | 7月16日(火) | 神奈川県 | ①藤沢市消防本部 ②大和市消防本部 | 24時間営業のコンビニエンスストア各社(103店舗)に協力をいただき、24時間誰でもAEDを使用できる環境を整備している。(大和市) |
| 5 | 7月23日(火) 7月24日(水) | 大分県 | ①大分市消防局 ②別府市消防本部 ③国東市消防本部 | 画像伝送システムを全車両に積載しており、一部の車両にはスクナ(12誘導心電図伝送システム)を積載している。(国東市消防本部) |
| 6 | 10月8日(火) 10月9日(水) | 秋田県 | ①秋田市消防本部 ②五城目町消防本部 ③由利本荘市消防本部 | 秋田県MC協議会の適正な運用を図る目的で指導救命士会が設置され、救急に携わる職員の研修、指導や再教育の監督等を行い、救急業務の資質向上を図っている。(秋田県) |
| 7 | 10月29日(火) 10月30日(水) | 和歌山県 | ①和歌山市消防局 ②高野町消防本部 ③田辺市消防本部 | 和歌山県内の2次、3次救急を担う13医療機関が、チャット機能がついたアプリを使い、患者情報を共有して救急医療の充実を図っており、不要不急な転院搬送を防止している。(和歌山県) |
| 8 | 11月13日(水) 11月14日(木) | 島根県 | ①松江市消防本部 ②隠岐広域連合消防本部 | 近隣の中国地方5県と柔軟なドクターヘリの運用を実施している。消防本部毎に、あらかじめ選定するドクターヘリの順番を定めており、自県ヘリより他県ヘリが優先順位が高いといった場合もある。また、要請キーワードも統一しておらず、自県のものを使用し他県ヘリの要請が可能であり柔軟な対応が図られている。(島根県) |

5 救急業務に関するフォローアップ

(5) 今後の方向性

- ・各都道府県、各消防本部に対して実施した調査やアンケート等から抽出したデータをとりとまとめ、3年間における状況変化を分析。課題の抽出や今後の改善策の検討につなげる。
- ・先進事例等を全国に水平展開する。
- ・フォローアップ方法や調査項目等の見直しを進めるとともに、来年度以降における本事業の継続方法についても検討する。

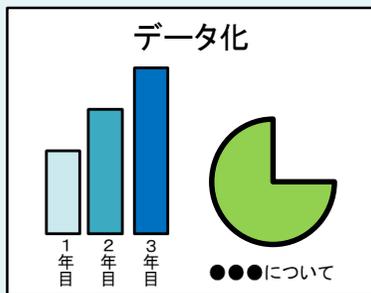
見える化

データのとりまとめ・分析

継続調査項目

- 1 #7119の実施状況と必要性
- 2 転院搬送ガイドラインの策定状況
- 3 傷病者の搬送及び受入れ実施基準に関する状況
- 4 救急救命士の資格を有する救急隊員数等の推移
- 5 指導救命士の認定状況
- 6 保健所等と消防本部の協定締結状況
- 7 ICT(スマートフォン・タブレット端末等)の導入状況
- 8 救急ボイストラの導入状況
- 9 搬送困難事例への対応 等

データ化



先進事例・効果的な取組の事例紹介

先進事例①

●●消防本部

効果的な取組

●●消防本部

先進事例②

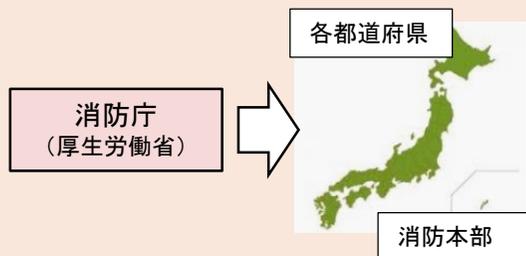
●●県

効果的な取組

●●県

事業継続

フォローアップの方法



調査項目



様式の変更検討

調査項目の内容検討

新たな調査項目の追加

etc

実施年度

単年度

複数年度

必要な都度